

一般研究発表(ポスター発表)論文原稿作成要領

登録締切	2026年4月30日(木)17時
------	------------------

【1】発表論文原稿作成要領

1. 発表論文の構成

- 1) 原則として序論，方法，結果，考察，引用文献などの項目に分けて記述し，「科学論文の要件」を満たしてください。
 - ① 公益社団法人日本心理学会発行の「[執筆・投稿の手びき](#)」をご参照ください。
 - ② 研究の発展と教育的な貢献の観点から，引用文献欄には 1～3 件の代表的な先行研究の情報をお示しください。
 - ③ 内容によって方法等の記述が難しい場合にも何らかの項目の別に記載してください。
 - ④ 得られた結果を記述することとし，「大会当日に報告する」など途中経過の報告にならないようご注意ください。
 - ⑤ 一連発表の場合にも，それぞれが完結した発表論文であることが必要です。
- 2) 個人情報の保護に配慮し，研究協力者等の個人が特定される可能性のある記載（インシヤル，居住地，写真など）を避けるようご注意ください。
- 3) 研究実施に際して，倫理委員会等の承認を得ている場合や，研究対象者のインフォームド・コンセントが得られている場合（ただし，研究対象者が18歳未満の未成年者である場合や，判断能力への配慮を要する場合には，法令および倫理的指針に基づき代諾者から同意を得るとともに，本人の理解に応じたインフォームド・アセントを取得する），利益相反がある場合には，その旨を明記してください。
 - ① 発表申し込みにあたり web システム上で倫理委員会の承認の有無（はい/いいえ）をお答えください。
 - ② 審査を受けられていない場合には「いいえ」をお選びいただいたうえで，詳細を備考欄にご入力ください。
 - ③ 動物を対象とする研究の場合には，所属機関の動物実験委員会等の承認を得ており（非侵襲的な観察のみであり，所属機関の動物実験委員会等による承認が不要とされている場合を除く），適切な倫理的配慮がなされている旨を本文中に明記してください。
 - ④ データの二次利用のために，今回直接インフォームド・コンセントを得られていない場合は，参加者が二次利用の許諾をしていた旨を本文内で明記ください。
- 4) 個人または所属機関等の宣伝や，侮蔑的な表現を用いることは慎んでください。
- 5) 著作物を図表や画像等として使用する場合は，権利者の許諾が得られている旨を明記してください。
- 6) 既存の質問紙・心理検査の利用に際しては，最新の利用条件を確認し，必要に応じて所定の手続き（使用許諾の取得，ライセンス契約，マニュアル等の購入）を行ってください。
- 7) 日本心理学会倫理規程 2.2 の 8（26 ページ：https://psych.or.jp/wp-content/uploads/2017/09/rinri_kitei.pdf）において，「既出のデータを利用する場合には，初出の論文とは異なる視点を分析や解釈に入れるなど，新しい要素が必要である。」と示

しています。既出のデータを利用する場合には、既出のデータであることを明記し、初出の論文の情報を本文および引用文献欄に示したうえで初出の論文とは異なる視点や分析を含む原稿を作成してください。ただし、校閲は、基本的に形式的な体裁を対象としており、具体的な記述内容には踏み込みません。初出の論文との差異化については、発表者の責任において担保いただくようお願いします。なお、発表カテゴリーの主旨を踏まえると、「小講演」や「公募シンポジウム」にて、既発表の内容を、発表内容に含めることは、上記倫理規程に抵触しないと判断しています。

8) プレプリント論文の内容を発表する場合には、その旨を本文中に明記すると同時に、引用文献欄にプレプリント論文の情報を明記してください。ただし、その場合にも「科学論文の要件」を満たすことを前提とし、必要な情報を参照先に委ねることはお控えください（以下の URL もご参照ください https://psych.or.jp/meeting/preprint_convention/。本大会は前回大会の方針を踏襲します。）。

9) 発表論文の執筆における AI ツールの利用につきましては、日本心理学会の「学術論文の執筆における AI 利用ポリシー」をご参照ください(<https://psych.or.jp/wp-content/uploads/2023/05/k09-7.pdf>)。

※ 発表論文については 1)-9)を実行委員会で事前に校閲いたします。問題があると判断された時には場合によっては発表できないこともあり得ますので十分ご注意ください。

2. 原稿サイズと作成方法

1) 原稿のサイズは A4 判 (1 枚) です。

2) 第 90 回大会ホームページに一般研究発表論文原稿テンプレート (MS-Word 用) を掲載していますので、こちらの[テンプレートをご使用ください](#)。原稿は下記「3. 原稿書式」にしたがって作成してください。

※ 一般研究発表論文原稿テンプレートの黒文字部分に上書きして作成し、赤文字の注記は必ず削除してください。過去の大会では、注記が残ったままの原稿が数多く提出されて、再提出が求められていますのでご注意ください。

3) 発表申込システムでは、PDF ファイルで登録します。登録手続きの前に、作成した原稿ファイルをご自分で PDF に変換してください。変換については、第 90 回大会ホームページにも案内を掲載いたします。なお、PDF 変換後のファイルサイズは、5MB(メガバイト)以下にしてください。

3. 原稿書式

1) 原稿のレイアウトは図 1 (p.4) を参照してください。

※ 原稿と発表申込システムに入力する内容 (題目・氏名・所属機関名・キーワード) は必ず一致させてください。

入力内容が異なると、発表が認められない場合があります。

2) 「題目 (主題)」 (100 字以内) は第 1 行目から第 2 行目までに 18 ポイントで記入してください。要領・テンプレートでは題目欄を第 1 行目のみに記載していますが、主題あるいは副題が 1 行を超える場合は、当該行数分だけ以下の記載位置を繰り上げて換算してください (なお、以下の行数はテンプレートに基づいています)。

3) 「題目 (副題)」 (100 字以内) は第 2 行に 9 ポイントで記入し、副題がない場合は第 2 行目を空けてください。

※ コロン (:) ・波線 (~) は使用できません。

- 4) 「氏名」は第 3 行に記入し、連名発表の場合には研究発表者（責任発表者）の氏名の前に○印を付けてください。また、非会員連名発表者は、氏名の後に「#」を付けてください。入会申請中の責任発表者に「#」は不要です。
- 5) 「所属」は第 4 行に、氏名の下に括弧でくくって記入してください。連名発表の場合、発表者の所属が同一であれば、1 つだけ記入してください。
所属が大学の場合には大学名までを記入してください。連名者が多数の場合は、一般に通用する略称を用いても差し支えありません。「日本学術振興会特別研究員（PD）」であれば「学振 PD」等としてください。また、所属がない場合は「所属なし」と記入してください。
- 6) 「キーワード」は第 5 行に重要度順に 3 つまで記入してください。
- 7) 第 6 行目は空けてください。
- 8) 「英文タイトル」（200 字以内）は第 7 行に、「英文サブタイトル」（200 字以内）は第 8 行に、「氏名英語／ローマ字表記」は第 9 行に、「所属英語／ローマ字表記」は第 10 行に、「英文キーワード」は第 11 行に、それぞれ 9 ポイントで記入してください。国際化の一環として英文でのタイトル、氏名、所属、キーワードの掲載が必須となっております。
- 9) 第 12 行目は空けてください。
- 10) 題目の字数、副題などの関係で、上記の行数や文字のポイント数に若干変更があってもかまいませんが、「本文」は必ず第 13 行目から書き始めてください。本文は 9 ポイント（引用文献欄のみ 8 ポイント）で記入してください。本文を記入する箇所は 2 段組み（2 列にわたって記入）になっています。
- 11) 「引用文献」は、本文の最後に書いてください。当該欄への記載は本文全体の 1/3 以下の面積、1 件以上 3 件以下とします。テンプレートの記載例に従い、検索を可能とする十分な情報の記載をお願いします。スペースが足りない場合は略記でも結構です。
- 12) 図・表・写真の合計面積は本文全体の 3 分の 1 を超えないようにしてください。
- 13) 図・表・写真は、余白部分にはみ出さないよう原稿上に貼り込んでください。また PDF ファイルに変換した際に不具合がないことを確認してください。
- 14) 図・表・写真はカラーも可能です。図表を自作される場合には、色覚の多様性にご配慮ください。
- 15) 原稿は 1 ページを超えないように記入してください。

【2】発表の著作権についての注意

本大会では、大会発表論文集の一般公開を予定しています。そのため、大会発表論文原稿登録の際に公益社団法人日本心理学会への著作権譲渡に同意をしていただく必要があります。大会発表論文原稿の登録をもって著作権譲渡に同意したものと見なします。

英文所属	: Times New Roman, 9ポイント	本文英数字	: Times New Roman, 9ポイント
Keywords	: Times New Roman, 9ポイント	引用文献のみ同	8ポイント
本文	: MS明朝, 9ポイント	本文の見出し	: MSゴシック, 9ポイント
	引用文献のみ同		8ポイント

【申込システムへの登録の前に、以下のチェックリストを確認してください】

登録する原稿は以下のようになっていますか？

- PDF ファイルです。
- 5MB（メガバイト）以下です。
- 1 ページに収まっています。
- 「一般研究発表論文原稿テンプレート」を使用しました。
- 序論(目的), 方法, 結果, 考察, 引用文献などの項目に分けられています。
- 引用文献欄に1~3件(本文の1/3)までの文献が記載されています。
- テンプレートの注記(赤字)は残っていません。
- 完結した研究論文としての体裁がとれています。
- 図表・余白を合わせて本文部分の1/3を超えていません。
- 図表は鮮明です。
- 日英の題名, 発表者名, 所属をすべて記載しています。
- システム上の登録情報と論文の情報一致しています。
- 企業・所属機関・個人の宣伝は記載されていません。
- プロダクトの価格表など学術的研究として不適切な情報は掲載されていません。
- 著作物・肖像権, 実名公表をする場合, 許諾をとっています。
- 既存の質問紙・心理検査の利用に際して, 最新の利用条件を確認し, 必要な場合には所定の手続き(使用許諾を取得, ライセンス契約, マニュアル等の購入)を行っています。
- 差別的・侮辱的表現はありません。
- 対象者への不当な介入や侵襲の可能性はありません。
- 個人情報保護されています。
- インフォームド・コンセントが得られています(研究対象者が18歳の未成年者である場合や, 判断能力への配慮を要する場合には代諾者からの同意を得るとともに, 本人の理解に応じたインフォームド・アセントを取得している)。あるいは, インフォームド・コンセントの対象外の研究です。
- 動物を対象とする研究の場合, 所属機関の動物実験委員会等の承認を得ており(非侵襲的な観察のみであり, 所属機関の動物実験委員会等による承認が不要とされている場合を除く), 適切な倫理的配慮がなされています。あるいは, 動物を対象とする研究ではありません。
- データの二次利用をした際, 参加者の二次利用許諾を得ており, そのことを本文に明記しています。あるいは, データを二次利用していません。
- 利益相反が明示されています。あるいは, 利益相反はありません。
- 既発表のデータを発表する場合, 「既発表のデータであること」, 「引用元の情報」および初出の論文とは異なる視点を論文内で明記しています。あるいは, 既発表の論文ではありません。
- 日本心理学会の「学術論文の執筆におけるAI利用ポリシー」を遵守しています。

*PDF ファイルではない場合

⇒Word の「名前をつけて保存」でファイル形式を PDF に変換する、あるいは「印刷/プリント」で「PDF」を選択するなどしてください。

*5MB を超えている場合

⇒図が原因の場合、「図ツール」の「書式」→ [図の圧縮] を使う、あるいは図のトリミングをする等するとファイルサイズが小さくなります。

*PDF ファイルが 1 ページを超えている場合

⇒Word では 1 頁なのに PDF では 2 頁になってしまう場合は Adobe Acrobat の「ツール / ページを整理」を使うとページを削除できます。詳しくは Adobe の HP などをご参照ください。

付録：校閲確認項目

校閲では、つぎの 23 項目を点検し修正をお願いしております。ご自身での事前の確認をお願いします。

下線のある項目は指摘が多いので特にご注意ください。

- ①テンプレートの不使用または改変により書式が異なっている
- ②目的、方法、結果、考察、引用文献などの項目に分けられていない
- ③引用文献欄に 1 件以上の記載がない、または 4 件（本文の 1/3）以上の文献が記載されている
- ④テンプレートの注記が残っている
- ⑤完結した研究論文としての体裁がとれていない（「大会当日に報告予定」など結果が未完成）
- ⑥図表・余白を合わせて本文部分の 1/3 を超える
- ⑦図が著しく不鮮明
- ⑧日英の題名、発表者名、所属のいずれかが記載されていない
- ⑨システム上の情報と論文の情報不一致していない
- ⑩心理学の研究として内容に大きな疑問がある
- ⑪著作物・肖像権、実名公表の許諾をとっていない
- ⑫既存の質問紙・心理検査の利用に際して、利用条件の遵守に疑義がある
- ⑬個人情報保護されていない
- ⑭インフォームド・コンセントの手続きに不備がある（研究対象者が 18 歳の未成年者や判断能力への配慮を要する場合であるにもかかわらず、代諾者からの同意および本人からのインフォームド・アセントが取得されていない）
- ⑮動物を対象とする研究であるにもかかわらず、所属機関の動物実験委員会等の承認（非侵襲的

な観察のみであり，所属機関の動物実験委員会等による承認が不要とされている場合を除く）
が得られていない，または倫理的配慮に関する記載がない

- ⑩データの二次利用をしたが，参加者の二次利用許諾を得ていない（得ているが，そのことを本文に明記していない）
- ⑪対象者への不当な介入や侵襲の可能性がある
- ⑫差別的・侮辱的表現がある
- ⑬企業・所属機関・個人の宣伝が記載されている
- ⑭プロダクトの価格表など学術的研究として不適切な情報が掲載されている
- ⑮利益相反の明示が明らかに必要であるが記載されていない
- ⑯既発表のデータを発表しているが，「既発表のデータであること」，「引用元の情報」および初出の論文とは異なる視点が論文内で明記されていない
- ⑰日本心理学会の「学術論文の執筆における AI 利用ポリシー」を遵守していない

皆さまの発表の申し込みをお待ちしております。